

新しい生活様式（厚生労働省5/4）を踏まえた「新しい学校生活様式」（いわき市教育委員会）を参考にして対応します。

「新しい学校生活様式」より

○感染防止の3つの基本

- ①身体的距離の確保（できるだけ2m、最低でも1m）
- ②マスクの着用
- ③手洗い

○学校生活を営む上での基本的な生活様式

- ①マスク着用の徹底、手洗いの徹底
- ②学校における換気の徹底
- ③できる限り座席と座席の距離を置く配置
- ④毎朝の体温測定と健康チェック。発熱、風邪症状のときは自宅で療養

錦中学校の対策

1. 日常生活について

(1) 体調管理、検温を行う。

○朝、登校する前に、家で検温をしてくる。（生徒、教師とも）

○次の場合は無理に登校せずに、自宅で休養する。

①発熱（ 37.0 以上 または平熱 $+1^{\circ}\text{C}$ ）

②だるさ、息苦しさの症状

③風邪の症状

○学校生活で、体調がよくない、熱っぽいなどの症状が出たら、必ず学級担任や養護教諭の近内先生に申し出る。

(2) マスクは必ず着用する。

(3) 「うがい」「手洗い」「換気」を登校時、休み時間ごとに行う。

(4) 給食は全員、前を向いて取る。

(5) 集会については、全校集会を行わない。必要があれば学年集会のみを体育館で行う。その際、換気を十分に行い、生徒間の間隔を開ける。

2. 授業について

(1) できるだけ机と机を離して座る。

(2) ペア活動やグループ活動が必要なときは、お互いの距離を十分に取り、短い時間で行う。

(3) 共用の教材、教具、情報機器の使用はできるだけ避け、使用する際は、用具の除菌と手洗いを徹底する。

(4) 教科ごとの対応

①音楽は、換気を十分に行い、距離を取り、人のいる方に口が向かないようにする。

②家庭科は、調理実習の際、食材に直接触れない等衛生管理を徹底する。

- ③保健体育は、密集する運動、近距離で組み合ったり接触する運動を避ける。
※生徒、教師とも、熱中症対策のため、マスクを外してもよいが、お互いの距離を2m以上確保する。ランニング等は更に長い距離を確保する。
不必要な会話や発生を行わない。
生徒が、マスクを着用したいときには、呼吸が苦しくなるような激しい運動はしない。
体育を見学するときにはマスク着用し、お互いの距離を2m以上確保して休憩する。
※印：スポーツ庁（5/21）「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性」を踏まえています。

3、休み時間等の過ごし方について

- (1) 感染防止のために、お互いに距離を取ることを意識する。
- (2) 昼休みは、天気がよければできるだけ校庭で遊ぶ。
- (3) 大声で話したり、叫んだりということは、集団生活のマナーの点からも慎む。
- (4) 教室の隅やトイレ等、換気の悪いところや密閉空間に集まらない。
- (5) 机やイス、ドアの取っ手など、必要のないものに触らないように心がける。

4、部活動について

※別紙「新型コロナウイルス感染防止のための部活動方針」

5、心のケアについて

(1) 二者教育相談を実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休業が続く中、生徒の皆さんは、感染への恐れや、学習、進路のこと、部活動のことなど、不安や悩みを抱えているのではないかと思います。また、誰にも相談できずに一人で悩んでいる生徒もいるかもしれません。そこで、まず、全校生にアンケートを取り、生徒と学級担任による、二者教育相談を行います。

アンケート実施： 6月1日（月）学級活動

二者教育相談期間： 6月8日（月）～12日（金）放課後1時間程度
全生徒実施します。

(2) スクールカウンセラーとの相談

スクールカウンセラー、和田清江先生（臨床心理士、公認心理師）が毎週木曜日に来校します。

心の悩み、学校生活、友人、学習、身体、進路のことなど相談できます。

希望する場合には予約が必要です。保護者の方も相談できます。

(3) 相談窓口

不安や悩みを相談したいときは、以下のところに連絡して話を聞いてもらうことができます。

「24時間子どもダイヤル」0120-0-78310

(チャミイ 柁 = 悩み言おう)